

川の生きものを調べて水質調査を行いました！ ～九頭竜川上流部および石徹白川 水生生物調査レポート～

九頭竜川ダム統合管理事務所

九頭竜川ダム統合管理事務所では、九頭竜川上流部及び支流の石徹白川で、生きものを指標として河川の水質を総合的に評価するため、地域の皆様のご協力をいただいて『水生生物調査』を実施しています。

今回は、4年ぶりに地元の和泉小学校の児童や奥越漁業協同組合の方々に参加頂き、水生生物調査を通して、参加者の皆さんにとって身近な水環境問題に対する関心を深めていただきました。

また、河川を安全に利用してもらうため、水難事故防止アニメの放映やライフジャケットの正しい付け方などの説明を実施することで、河川利用者の水難事故防止の啓発も行いました。

開催概要

- 日時: 令和5年7月21日(金) 13:00 ~ 16:00
- 調査地点: 九頭竜川上流部(旧役場前、多母谷川合流部)
- 参加者数: 奥越漁業協同組合3名、
九頭竜川ダム統合管理事務所3名

- 日時: 令和5年7月22日(土) 9:00 ~ 13:00
- 調査地点: 石徹白川(前坂キャンプ場)
- 参加者数: 和泉小学校児童10名、保護者7名
九頭竜川ダム統合管理事務所2名

【水の汚れ程度と指標生物】

全国水生生物調査では、29種類の水の中にする生きものを選び川にどの生きものが多く見られたかを調べることで、水のよごれの程度を判定しています。

このように、生きものを使って水質を判定する方法を「生物学的水質判定」といいます。

水質階級	種類数	指標生物
水質階級I	10種類	アミカサ、ナミウスミシ、カワゲラ類、サワガニ、ナカレトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、フユ類、ヘビトンボ、ヤマトビケラ類、ヨコエビ類
水質階級II	8種類	イシマキガイ、オオシマトビケラ、カワナシ類、ゲンシボタル、コオニヤシマ、コガタシマトビケラ類、ヒラタドムシ類、ヤマハシジミ
水質階級III	6種類	イソコツブムシ類、タニシ類、コホンドロンコエビ、シマイシビル、ミスカマキリ、ミスムシ
水質階級IV	5種類	アメリカザリガニ、エラミミズ、サカマキガイ、ユスリカ類、チョウバエ類

水質階級	川の水のよごれ
水質階級I	きれいな水
水質階級II	ややきれいな水
水質階級III	きたない水
水質階級IV	とてもきたない水

判定された水質階級は、川の水のよごれの程度により4段階に分けられます。

【水生生物調査の結果】

今回の調査では、

- ・カワゲラ類
- ・ヒラタカゲロウ類
- ・ヘビトンボ

が多く採取されることで九頭竜川および支川の石徹白川は**水質階級 I**のきれいな水である事が確認されました。



参加者の声

- ✓ 雑魚の餌になる生物がたくさんいることが分かった。
- ✓ 水生生物を直に見る良い機会だった。
- ✓ いつまでもきれいな川であってほしい。
- ✓ 綺麗な川に生息する虫が沢山取れて楽しかった。
- ✓ 川遊びではライフジャケットなどの重要性が良くわかった。



【位置図】



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課
〒912-0021 福井県大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)